第1項: 物質/混合物および会社情報

1.1. 製品特定名

製品情報 :混合物

名前 :レジン A SE-10、SE-12、SE-16、SE-20、SE-22、SE-24

製品グループ :取引製品

1.2. 物質または混合物について、特定された関連用語、および推奨できない用途

1.2.1. 特定した重要な用途

主な使用カテゴリー :工業用途、業務用途

物質/混合物の用途 :接着系アンカー

1.2.2. 推奨されない使用法

追加情報なし。

1.3. 安全データシートを提供する供給業者の詳細

販売元 ユニカ株式会社
東京都千代田区岩本町 2-10-6
TEL:03-3864-8711 FAX:03-3864-7746
https://www.unika.co.jp/

製造元 Chemfix Products Ud.
Mill Street East
Dewsbury, West Yorkshire WF12 9BQ United Kingdom
Telephone: +44 1924453886 Fax: +44 1924458995
E-mail: info@chemfix.co.uk

1.4.緊急電連絡話番号

緊急連絡電話番号 : 03-3864-8711(ユニカ株式会社 9:00 AM ～ 5:00 PM)

第2項:危険有害性の要約

2.1. 物質/混合物の分類

規則(EC)No.1272/2008 [CLP]に準ずる分類

引火性液体 区分 3	H226
急性毒性（経口） 区分 4	H302
皮膚腐食性/刺激性 区分 2	H315

目に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2	H319
皮膚感作性 区分 1	H317
生殖毒性 区分 2	H361d
特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分 1	H372
水生環境有害性 長期（慢性） 区分 2	H411

危険有害性情報 H と EUH の全文：項目 16 を参照

2.2. ラベル要素

規則(EC)No.1272/2008 [CLP]に準拠したラベル表示

GHS 絵表示 (CLP) :

注意喚起 :危険

含有物質 :スチレン、ジベンゾイペルオキシド、1,1'-(p-トリルイミノ)ジプロパン-2-オール、メタクリル酸

危険有害性情報(CLP) :H226 – 引火性の液体および蒸気。
H302 – 飲み込むと有害。
H315 – 皮膚刺激。
H317 – アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ。
H319 – 強い眼刺激。
H361d – 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
H372 – 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害。
H411 – 長期継続的影響により水生生物に有毒。

注意事項(CLP) :P210 – 熱、高温のもの、火花、裸火およびその他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P273 – 環境への放出を避けること。
P280 – 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面 等を着用すること。
P391 – 漏出物を回収すること。
P403+P235 – 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P501 – 内容物を承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

2.3. その他の危険

その他の危険 :蒸気が空気と爆発性の混合物を形成する可能性がある。PBT および vPvB 評価の結果: REACH 附属書 XIII に従って評価された PBT/vPvB 物質を 0.1%以上含まない。

構成成分	
スチレン (100-42-5)	この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の PBT 基準を満たしていません この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の vPvB 基準を満たしていません
エチレンジベンゾエート(94-49-5)	この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の PBT 基準を満たしていません この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の vPvB 基準を満たしていません
ジベンゾイルペルオキシド (94-36-0)	この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の PBT 基準を満たしていません この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の vPvB 基準を満たしていません

混合物は、内分泌かく乱作用を有するとした REACH 第 59 条(1)内にて設定された物質を含まないか、または委員会委任規則(EU)2017/2100 もしくは委員会規則(EU)2018/605 に規定された基準に従って内分泌かく乱作用を有すると確認されている物質を 0.1%以上の濃度で含まない。

第3項:組成及び成分の情報

3.1. 物質

該当なし

3.2. 混合物

物質名	製品特定名	%	規則(EC)番号による分類 1272/2008 [CLP]
スチレン	CAS 番号:100-42-5 EC 番号:202-851-5 EC インデックス: 601-026-00-0 REACH 番号:01-2119457861-32-xxxx	1 - 12,5	引火性液体. 3, H226 急性毒性(経口).4, H302 急性毒性(吸入).4, H332 皮膚腐食性/刺激性.2, H315 眼刺激性.2, H319 生殖毒性.2, H361d 特定標的臓器毒性(単回ばく露);気道性刺激. 3, H335 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 1, H372 誤えん性有害.1、H304 水生環境有害性 長期(慢性)3、H412
エチレンジベンゾエート	CAS 番号:94-49-5 EC 番号:202-338-6	0 - 1,5	水生環境有害性 長期(慢性)2、H411

	REACH 番号:01-2120759933-41-xxxx		
ジベンゾイルペルオキシド	CAS 番号:94-36-0 EC 番号:202-327-6 EC インデックス: 617-008-00-0 REACH 番号: 01-2119511472-50-xxxx	0.5 - <2,5	自己反応物質および混合物,有機過酸化物 B, H241 眼刺激性.2、H319 皮膚感作性.1, H317 水生環境有害性 短期(急性)1、H400(M=10) 水生環境有害性 長期(慢性)1、H410(M=10)
1,1'-(p-トリルイミノ)ジプロパン-2-オール	CAS 番:38668-48-3 EC 番号: 254-075-1	0 - 0,75	急性毒性(経口).2, H300 眼刺激性 2, H319 水生環境有害性 長期(慢性).3, H412
メタクリル酸	CAS 番号:79-41-4 EC 番号:201-204-4 EC インデックス: 607-088-00-5	0 - 0,1	急性毒性。4 (経口), H302 急性毒性。3 (経皮), H311 急性毒素。4 (吸入), H332 皮膚腐食性/刺激性 1A, H314 特定標的臓器毒性(単回ばく露),気道刺激性 3, H335

特定の濃度限界:

物質名	製品識別子	特定の濃度限界
メタクリル酸	CAS 番号:79-41-4 EC 番号:201-204-4 EC インデックス: 607-088-00-5	(1 ≤C < 100) 特定標的臓器毒性(単回ばく露),気道刺激性 3, H335

H と EUH ステートメントの全文:第 16 項参照

第4項:応急処置

4.1. 応急処置の説明

追加のアドバイス :応急処置: 自己保護に注意すること。この安全データシートを医師に見せること。使用する個人用保護具については、第 8 項を参照のこと。意識のない人には絶対に口から何も与えないこと。疑いや持続的な症状がある場合は、必ず医師に相談すること。この安全データシートを医師に見せること。

吸入した場合 :負傷者を空気の新鮮な場所に移し、保温して安静に保つこと。疑いや持続的な症状がある場合は、必ず医師に相談すること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類と靴を脱ぐこと。多量の石鹸と水でやさしく洗うこと。疑いや持続的な症状がある場合は、必ず医師に相談すること。

眼に入った場合 : 直ちに眼用洗浄液または水で注意深く十分に洗うこと。コンタクトレンズがあり、容易に外せる場合は外し、洗眼を続けること。疑わしい場合または症状が持続する場合は、必ず医師に相談すること。

飲み込んだ場合 : 口を水で十分にすすぐこと。医師の診断／手当てを受けること。

4.2. 最も重要な症状/影響(急性および遅延)

吸入 した場合 :副作用はないが、炎症を起こすおそれ。

皮膚に付着した場合 :アレルギー性皮膚反応を起こすことがある。皮膚刺激を引き起こす。

眼に入った場合 :重篤な眼刺激を引き起こす。

飲み込んだ場合 :飲み込むと有害。

慢性症状 :長期または反復暴露により臓器に障害を与える。胎児への影響が懸念される。

4.3. 即時の医師の診察と特別な治療の必要性の表示

対症療法で治療する。

第 5 項:火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 :二酸化炭素(CO2)、粉末、アルコール耐性泡消火薬剤、水噴霧。

不適切な消火剤 :強い噴流水。

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

特定危険有害性 :引火性液体および 蒸気。引火性の液体および蒸気。加熱すると圧力が上昇し、破裂の危険がある。蒸気は空気と爆発性の混合物を形成する恐れがある。蒸気は空気より重く、着火源までかなりの距離を移動し、蒸気の発生源に引火する可能性がある。

危険有害な分解生成物 :燃焼により有害で有毒なガスが発生する。(火災の場合)

5.3. 消火活動を行う上での注意事項

消防指示 :火災発生場所から避難する。露出した容器を冷却するために水を噴霧する。消火用水が他の場所に漏出しないようにする。熱、高温の表面、火花、裸火、その他の発火源から遠ざける。禁煙。

消火時の保護具 :自給式呼吸器等の適切な保護具を着用する。

その他の情報 :消火活動で流出した水が排水溝や水路に入らないようにすること。廃棄物は環境法令に従って処理すること。

第 6 項:漏出時の措置

6.1. 注意事項、保護 機器と緊急措置

6.1.1. 非緊急対応者

非緊急者対応 :不要な人員を退避させる。風上にいること。十分な換気を行うこと。 推奨される個人保護具を着用すること。使用する個人用保護具については、第 8 項を参照。
蒸気を吸入しないこと。皮膚、目、衣服との接触を避けること。熱、高温の表面 、火花、裸火、その他の着火源から遠ざけること。禁煙。装置が適切に接地されていることを確認すること。防爆型の装置を使用すること。火花の出ない工具のみを使用すること。

6.1.2. 緊急対応者

緊急対応者 :緊急時の汚染除去と廃棄のための手順と訓練が実施されていることを確認する。使用する個人用保護具については、第 8 項を参照のこと。

6.2. 環境に関する注意事項

環境への放出を避けること。製品が下水道や公共水域に入った場合は自治体等に通知を行う。

6.3. 流出防止および清掃に使用する方法および資材

洗浄方法 :安全であれば漏れを止める。漏出した液体をせき止める。
少量の液体の漏出: 不燃性の吸収剤に吸収させ、シャベルで容器に入れ廃棄する。
多量の流出:ポンプで汲み上げ回収する(防爆ポンプまたはハンドポンプを使用する)。廃棄物規制に従って廃棄に適した容器に入れる(第 13 項を参照)。この材料と容器は、地域の法令に従って安全な方法で廃棄しなければならない。漏出した液体製品を泡で覆い、蒸発を遅らせる

6.4. その他の参照項

使用する保護具については、第 8 項を参照。洗浄後の廃棄処分については、第 13 項を参照。

第 7 項:取扱及び保管上の注意

7.1. 安全取扱注意事項

安全取扱注意事項 :適切な換気を行うこと。必要に応じて個人用保護具を使用すること。使用する個人用保護具については、第 8 項を参照。蒸気を吸入しないこと。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。混合危険物質との混合を避けるため、あらゆる予防措置を講じること(第 10 項を参照)。過剰な廃棄物の排出を避けるため、適切な工程管理を行う(温度、濃度、pH、時間)。環境への放出を避ける。汚染された作業衣を作業場から出してはならない。使用前に特別な指示を受けること。すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。熱、高温の表面、火花、裸火およびその他の着火源から遠ざけること。禁煙。容器と受入装置を接地／接着すること。防爆装置を使用すること。火花の出ない工具のみを使用すること。

衛生対策 :産業衛生を保つこと。飲食または喫煙の前、および退社時には、手やその他の露出部を中性石鹸と水で洗うこと。本製品の使用中は飲食または喫煙をしないこと。飲食物や家畜の飼料から遠ざけること。汚染された衣服を脱ぐこと。作業衣と外出着を分けること。別々に洗濯すること。汚染された衣類は再使用前に洗濯すること。

7.2. 安全な保管のための条件(非適合性を含む)

保管条件 :引火性液体の保管 。容器を密閉して換気の良い涼しい場所に保管する。飲食物や動物の飼料から離して保管する。第10項に記載されている混合危険物質の近くや一緒に保管しない。流出時の土壌汚染や水質汚染を防ぐための保管設備。

混合危険物質 :強酸、強酸化剤。強塩基。

保管温度 :25℃未満

熱および発火源 :裸火、高温の表面、発火源から遠ざけること。禁煙。直射日光を避けること。

包装に関する特別規則 :開封した容器は適切に再密封し、漏れを防ぐために立てて保管する。容器は密栓して保管する。

包装資材 :元の容器にのみ保管する。

7.3. 特定の最終使用用途

建築および建設工事。

第 8 項:ばく露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメータ

スチレン (100-42-5)		
オーストリア	MAK (OEL TWA)	85 mg/m³
オーストリア	MAK (OEL TWA) [ppm]	20 ppm
オーストリア	MAK (OEL STEL)	340 mg/m³
オーストリア	MAK (OEL STEL) [ppm]	80 ppm
ベルギー	OEL TWA	108 mg/m³
ベルギー	OEL TWA [ppm]	25 ppm
ベルギー	OEL STEL	346 mg/m³
ベルギー	OEL STEL [ppm]	80 ppm
ブルガリア	OEL TWA	85 mg/m³
ブルガリア	OEL STEL	215 mg/m³
クロアチア	GVI (OEL TWA) [1]	430 mg/m³
クロアチア	GVI (OEL TWA) [2]	100 ppm
クロアチア	KGVI (OEL STEL)	1080 mg/m³
クロアチア	KGVI (OEL STEL) [ppm]	250 ppm
チェコ共和国	PEL (OEL TWA)	100 mg/m³
デンマーク	OEL C [ppm]	25 ppm
デンマーク	OEL C	105 mg/m³
エストニア	OEL TWA	90 mg/m³
エストニア	OEL TWA [ppm]	20 ppm
エストニア	OEL STEL	200 mg/m³
エストニア	OEL STEL [ppm]	50 ppm
フィンランド	HTP (OEL TWA) [1]	86 mg/m³
フィンランド	HTP (OEL TWA) [2]	20 ppm
フィンランド	HTP (OEL STEL)	430 mg/m³
フィンランド	HTP (OEL STEL) [ppm]	100 ppm
フランス	VME (OEL TWA)	100 mg/m³ (目安限界)
フランス	VME (OEL TWA) [ppm]	23,3 ppm (目安限界)
フランス	VLE (OEL C/STEL)	200 mg/m³ (目安限界)
フランス	VLE (OEL C/STEL) [ppm]	46,6 ppm (目安限界)

スチレン (100-42-5)		
ドイツ	職業ばく露限界値(mg/m³)(TRGS900)	86 mg/m³(AGW および BGW 値が観察された場合、胚または胎児への損傷のリスクを除外できる)
ドイツ	職業ばく露限界値(ppm)(TRGS900)	20 ppm(AGW および BGW 値が観察された場合、胚または胎児への損傷のリスクを除外できる)
ドイツ	生物学的限界値	600 mg /g クレアチニンパラメータ:マンデル酸とフェニルグリオキシル酸-媒体:尿- サンプリング時間:シフト終了 600 mg/g クレアチニン パラメータ:マンデル酸とフェニルグリオキシル酸 -媒体:尿 -サンプリング時間:長期暴露の場合は数回シフト終了時
ギリシャ	OEL TWA	425 mg/m³
ギリシャ	OEL TWA [ppm]	100 ppm
ギリシャ	OEL STEL	1050 mg/m³
ギリシャ	OEL STEL [ppm]	250 ppm
ハンガリー	AK (OEL TWA)	86 mg/m³
ハンガリー	CK (OEL STEL)	50 mg/m³
アイルランド	OEL TWA [1]	85 mg/m³
アイルランド	OEL TWA [2]	20 ppm
アイルランド	OEL STEL	170 mg/m³
アイルランド	OEL STEL [ppm]	40 ppm
ラトビア	OEL TWA	10 mg/m³
リトアニア	IPRV (OEL TWA)	90 mg/m³
リトアニア	IPRV (OEL TWA) [ppm]	20 ppm 10 ppm(新施設の計画または旧施設の交換用)
リトアニア	TPRV (OEL STEL)	200 mg/m³
リトアニア	TPRV (OEL STEL) [ppm]	50 ppm
ポーランド	NDS (OEL TWA)	50 mg/m³
ポーランド	NDSCh (OEL STEL)	100 mg/m³
ポルトガル	OEL TWA [ppm]	20 ppm
ポルトガル	OEL STEL [ppm]	40 ppm
ルーマニア	OEL TWA	50 mg/m³
ルーマニア	OEL TWA [ppm]	12 ppm
ルーマニア	OEL STEL	150 mg/m³
ルーマニア	OEL STEL [ppm]	35 ppm

スチレン (100-42-5)		
スロバキア	NPHV (OEL TWA) [1]	86 mg/m³
スロバキア	NPHV (OEL TWA) [2]	20 ppm
スロバキア	NPHV (OEL C)	200 mg/m³
スロベニア	OEL TWA	86 mg/m³
スロベニア	OEL TWA [ppm]	20 ppm
スロベニア	OEL STEL	172 mg/m³
スロベニア	OEL STEL [ppm]	40 ppm
スペイン	VLA-ED (OEL TWA) [1]	86 mg/m³ (内分泌かく乱物質)
スペイン	VLA-ED (OEL TWA) [2]	20 ppm (内分泌かく乱物質)
スペイン	VLA-EC (OEL STEL)	172 mg/m³
スペイン	VLA-EC (OEL STEL) [ppm]	40 ppm
スウェーデン	NGV (OEL TWA)	43 mg/m³
スウェーデン	NGV (OEL TWA) [ppm]	10 ppm
スウェーデン	KTV (OEL STEL)	86 mg/m³
スウェーデン	KTV (OEL STEL) [ppm]	20 ppm
英国	WEL TWA (OEL TWA) [1]	430 mg/m³
英国	WEL TWA (OEL TWA) [2]	100 ppm
英国	WEL STEL (OEL STEL)	1080 mg/m³
英国	WEL STEL (OEL STEL) [ppm]	250 ppm
ノルウェー	Grenseverdi (OEL TWA) [1]	105 mg/m³
ノルウェー	Grenseverdi (OEL TWA) [2]	25 ppm
ノルウェー	Korttidsverdi (OEL STEL)	131,25 mg/m³ (計算値)
ノルウェー	Korttidsverdi (OEL STEL) [ppm]	37,5 ppm (計算値)
スイス	MAK (OEL TWA) [1]	85 mg/m³
スイス	MAK (OEL TWA) [2]	20 ppm
スイス	KZGW (OEL STEL)	170 mg/m³
スイス	KZGW (OEL STEL) [ppm]	40 ppm
オーストラリア	OES TWA [1]	213 mg/m³
オーストラリア	OES TWA [2]	50 ppm
オーストラリア	OES STEL	426 mg/m³
オーストラリア	OES STEL [ppm]	100 ppm

スチレン (100-42-5)		
カナダ(ケベック州)	VECD (OEL STEL)	426 mg/m³
カナダ(ケベック州)	VECD (OEL STEL) [ppm]	100 ppm
カナダ(ケベック州)	VEMP (OEL TWA)	213 mg/m³
カナダ(ケベック州)	VEMP (OEL TWA) [ppm]	50 ppm
米国 - ACGIH	ACGIH OEL TWA [ppm]	10 ppm
米国 - ACGIH	ACGIH OEL STEL [ppm]	20 ppm
米国 - IDLH	IDLH [ppm]	700 ppm
米国 - NIOSH	NIOSH REL TWA	215 mg/m³
米国 - NIOSH	NIOSH REL TWA [ppm]	50 ppm
米国 - NIOSH	NIOSH REL STEL	425 mg/m³
米国 - NIOSH	NIOSH REL STEL [ppm]	100 ppm
米国 - OSHA	OSHA PEL TWA [2]	100 ppm
米国 - OSHA	OSHA PEL C [ppm]	200 ppm

ジベンゾイルペルオキシド(94-36-0)		
オーストリア	MAK (OEL TWA)	5 mg/m³(吸入可能分)
オーストリア	MAK (OEL STEL)	10 mg/m³(吸入可能分)
ベルギー	OEL TWA	5 mg/m³
クロアチア	GVI (OEL TWA) [1]	5 mg/m³
チェコ共和国	PEL (OEL TWA)	5 mg/m³
デンマーク	OEL TWA [1]	5 mg/m³
エストニア	OEL TWA	5 mg/m³
フィンランド	HTP (OEL TWA) [1]	5 mg/m³
フィンランド	HTP (OEL STEL)	10 mg/m³
フランス	VME (OEL TWA)	5 mg/m³
ドイツ	職業ばく露限界値(mg/m³)(TRGS900)	5 mg/m³(吸入可能分)
ギリシャ	OEL TWA	5 mg/m³
ハンガリー	AK (OEL TWA)	5 mg/m³
ハンガリー	CK (OEL STEL)	5 mg/m³
アイルランド	OEL TWA [1]	5 mg/m³
アイルランド	OEL STEL	15 mg/m³ (計算値)
ポーランド	NDS (OEL TWA)	5 mg/m³
ポーランド	NDSCh (OEL STEL)	10 mg/m³
ポルトガル	OEL TWA	5 mg/m³

ジベンゾイルペルオキシド(94-36-0)		
スロバキア	NPHV (OEL TWA) [1]	5 mg/m³
スロベニア	OEL TWA	5 mg/m³(吸入可能分)
スロベニア	OEL STEL	5 mg/m³(吸入可能分)
スペイン	VLA-ED (OEL TWA) [1]	5 mg/m³
英国	WEL TWA (OEL TWA) [1]	5 mg/m³
英国	WEL STEL (OEL STEL)	15 mg/m³ (計算値)
ノルウェー	Grenseverdi (OEL TWA) [1]	5 mg/m³
ノルウェー	Korttidsverdi (OEL STEL)	10 mg/m³ (計算値)
スイス	MAK (OEL TWA) [1]	5 mg/m³(吸入可能な粉塵)
スイス	KZGW (OEL STEL)	5 mg/m³(吸入可能な粉塵)
オーストラリア	OES TWA [1]	5 mg/m³
カナダ(ケベック州)	VEMP (OEL TWA)	5 mg/m³
米国 - ACGIH	ACGIH OEL TWA	5 mg/m³
米国 - IDLH	IDLH	1500 mg/m³
米国 - NIOSH	NIOSH REL TWA	5 mg/m³
米国 - OSHA	OSHA PEL TWA [1]	5 mg/m³

メタクリル酸 (79-41-4)		
オーストリア	MAK (OEL TWA)	70 mg/m³
オーストリア	MAK (OEL TWA) [ppm]	20 ppm
ベルギー	OEL TWA	71 mg/m³
ベルギー	OEL TWA [ppm]	20 ppm
ブルガリア	OEL TWA	70 mg/m³
クロアチア	GVI (OEL TWA) [1]	72 mg/m³
クロアチア	GVI (OEL TWA) [2]	20 ppm
クロアチア	KGVI (OEL STEL)	143 mg/m³
クロアチア	KGVI (OEL STEL) [ppm]	40 ppm
デンマーク	OEL TWA [1]	70 mg/m³
デンマーク	OEL TWA [2]	20 ppm
エストニア	OEL TWA	70 mg/m³
エストニア	OEL TWA [ppm]	20 ppm
エストニア	OEL STEL	100 mg/m³
エストニア	OEL STEL [ppm]	30 ppm
フィンランド	HTP (OEL TWA) [1]	71 mg/m³
フィンランド	HTP (OEL TWA) [2]	20 ppm

フランス	VME (OEL TWA)	70 mg/m³

メタクリル酸 (79-41-4)		
フランス	VME (OEL TWA) [ppm]	20 ppm
ドイツ	職業ばく露限界値(mg/m³)(TRGS900)	180 mg/m³(AGW および BGW 値が観察された場合、胚または胎児への損傷のリスクを除外る)
ドイツ	職業ばく露限界値(ppm)(TRGS900)	50 ppm(AGW および BGW 値が観察された場合、胚または胎児への損傷のリスクを除外できる)
ギリシャ	OEL TWA	70 mg/m³
ギリシャ	OEL TWA [ppm]	20 ppm
ギリシャ	OEL STEL	140 mg/m³
ギリシャ	OEL STEL [ppm]	40 ppm
アイルランド	OEL TWA [1]	70 mg/m³
アイルランド	OEL TWA [2]	20 ppm
アイルランド	OEL STEL	140 mg/m³
アイルランド	OEL STEL [ppm]	40 ppm
ラトビア	OEL TWA	10 mg/m³
リトアニア	IPRV (OEL TWA)	70 mg/m³
リトアニア	IPRV (OEL TWA) [ppm]	20 ppm
リトアニア	TPRV (OEL STEL)	100 mg/m³
リトアニア	TPRV (OEL STEL) [ppm]	30 ppm
ポルトガル	OEL TWA [ppm]	20 ppm
ルーマニア	OEL TWA	30 mg/m³
ルーマニア	OEL TWA [ppm]	8,5 ppm
ルーマニア	OEL STEL	45 mg/m³
ルーマニア	OEL STEL [ppm]	13 ppm
スロベニア	OEL TWA	180 mg/m³
スロベニア	OEL TWA [ppm]	50 ppm
スロベニア	OEL STEL	360 mg/m³
スロベニア	OEL STEL [ppm]	100 ppm
スペイン	VLA-ED (OEL TWA) [1]	72 mg/m³
スペイン	VLA-ED (OEL TWA) [2]	20 ppm
スウェーデン	NGV (OEL TWA)	70 mg/m³
スウェーデン	NGV (OEL TWA) [ppm]	20 ppm
スウェーデン	KTV (OEL STEL)	100 mg/m³
スウェーデン	KTV (OEL STEL) [ppm]	30 ppm
英国	WEL TWA (OEL TWA) [1]	72 mg/m³
英国	WEL TWA (OEL TWA) [2]	20 ppm

英国	WEL STEL (OEL STEL)	143 mg/m³

メタクリル酸 (79-41-4)		
英国	WEL STEL (OEL STEL) [ppm]	40 ppm
ノルウェー	Grenseverdi (OEL TWA) [1]	70 mg/m³
ノルウェー	Grenseverdi (OEL TWA) [2]	20 ppm
ノルウェー	Korttidsverdi (OEL STEL)	105 mg/m³ (計算値)
ノルウェー	Korttidsverdi (OEL STEL) [ppm]	30 ppm (計算値)
スイス	MAK (OEL TWA) [1]	180 mg/m³
スイス	MAK (OEL TWA) [2]	50 ppm
スイス	KZGW (OEL STEL)	360 mg/m³
スイス	KZGW (OEL STEL) [ppm]	100 ppm
オーストラリア	OES TWA [1]	70 mg/m³
オーストラリア	OES TWA [2]	20 ppm
カナダ(ケベック州)	VEMP (OEL TWA)	70 mg/m³
カナダ(ケベック州)	VEMP (OEL TWA) [ppm]	20 ppm
米国 - ACGIH	ACGIH OEL TWA [ppm]	20 ppm
米国 - NIOSH	NIOSH REL TWA	70 mg/m³
米国 - NIOSH	NIOSH REL TWA [ppm]	20 ppm

追加情報 :推奨される監視手順:個別および室内空気監視

8.2. ばく露防止

工学的対策 :適切な換気を行うこと。適切な排気設備のある場所でのみ使用すること。暴露の可能性のある場所のすぐ近くに、緊急用洗眼器と安全シャワーを設置すること。放出、拡散、暴露を防止／制限するための組織的対策措置をとること。安全な取り扱いについては第 7 項を参照。静電気放電に対する予防措置をとること。装置が適切にアースされていることを確認すること。防爆型の機械、装置、換気設備、工具等を使用すること。

保護具 :保護具の種類は、個別の作業環境における危険物質の濃度と量に応じて選択すること。

手の保護 :耐薬品性手袋(EN374 でテスト済み)を着用すること。不浸透性手袋。作業場所での用途と使用時間により特定の手袋を選択する。使用される可能性のある他の化学物質、物理的要件(切断/穴あけに対する保護、熱保護)、および手袋の販売元の指示/仕様など(ただしこれらに限定されない)、作業スペースの他の要因も考慮に入れること。
ブレークスルータイム: 時間(>8) バイトン手袋。厚さ:0,7mm。
ブレークスルータイム:時間(>2) ブチルゴム。
ブレークスルータイム:時間(<1) クロロプレン。ニトリルゴム。厚さ 0,11 mm

保護めがね :適切な目の保護具(EN166)を使用こと。:ゴーグル

保護衣 :適切な防護服を着用すること。長袖服

呼吸用保護具	:換気が不十分な場合は、適切な呼吸装置を着用すること。フルフェイスマスク(DIN EN 136)。ハーフフェイスマスク(DIN EN 140)。フィルタータイプ:A(EN 14387)。フィルタークラスは、製品の取り扱い時に発生する可能性のある最大汚染物質濃度(ガス/蒸気/エアロゾル/粒子)に適していること。濃度を超えた場合は、自給式呼吸装置を使用すること。(EN 137)
熱保護	:通常の使用条件では必要ない。必要に応じて、専用機器を使用すること。
環境暴露管理	: 地表水や排水溝に流入させないこと。適用される地域環境保護法を遵守すること。環境への放出を避ける。

第 9 項:物理的および化学的特性質

9.1. 物理的および化学的物性に関する情報

物理的な状態	:液体
外観	:カプセル
色	:無色
臭い	:特有臭気
臭気閾値	: データなし
pH	: データなし
相対蒸発速度(酢酸ブチル=1)	: データなし
融点/凝固点	: データなし
氷点	: データなし
初期沸点と沸点範囲	: データなし
引火点	: 31 ° C 樹脂
自発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	:該当なし、液体
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
相対密度	: データなし
可溶性	: 水に不溶
分配係数 n-オクタノール/水	: データなし
動粘度	: データなし
粘度	: 420 - 520 mPa・s
爆発性	: 該当なし。分子内には爆発性に関連する化学基が存在しないため、分類を適用しない。
酸化特性	: 該当なし。分子内には酸化特性に関連する化学基が存在しないため、分類を適用しない。
爆発限界	: データなし
粒子サイズ	: 該当なし
粒度分布	: 該当なし
粒子形状	: 該当なし
粒子のアスペクト比	: 該当なし
粒子凝集状態	: 該当なし
粒子凝集状態	: 該当なし

粒子比表面積 : 該当なし
粒子の飛散性 : 該当なし

9.2. その他の情報

9.2.1. 物理的危険有害性クラスに関する情報

追加情報はありません

9.2.2. その他の安全特性

追加情報はありません

第 10 項:安定性および反応性

10.1. 反応性

可燃性の液体および蒸気。第 10 項 10.4 および 10.5.を参照。

10.2. 化学的安定性

通常の条件下で安定。

10.3. 危険有害な反応生成物

蒸気は空気と爆発性混合気を形成する可能性がある。熱により重合が起こる可能性がある。

10.4. 避けるべき条件

熱、高温の表面、火花、裸火、その他の発火源から遠ざけること。禁煙。直射日光を避ける。安全な取り扱いについては、第 7 項を参照。

10.5. 危険有害反応可能性

強力な酸化剤。強塩基類。強酸。安全な取り扱いについては、第 7 項を参照。

10.6. 危険有害な分解生成物

通常の使用条件では分解しない。燃焼することで有毒ガスが発生する（COx）。第 5 項 5.2 を参照。

第 11 項:有害性情報

11.1. 規則(EC)No 1272/2008 の危険有害性クラスの関する情報

急性毒性 :飲み込むと有害。

ATECLP(経口)	980,392 mg / kg 体重

スチレン (100-42-5)	
LD50/経口/ラット	1000 mg/kg

LD50/皮膚/ラット	> 2000 mg/kg
LC50/吸入/4 時間/ラット	11,8 mg/l

ジベンゾイルペルオキシド (94-36-0)	
LD50/経口/ラット	7710 mg/kg

エチレンジベンゾエート(94-49-5)	
LD50/経口/ラット	> 2000 mg/kg
LD50/皮膚/ラット	> 2000 mg/kg

1,1'-(p-トリイミノ)ジプロパン-2-オール (38668-48-3)	
LD50/皮膚/ラット	> 2000 mg/kg

メタクリル酸 (79-41-4)	
LD50/経口/ラット	1060 mg/kg
LD50/皮膚/ウサギ	500 - 1000 mg/kg
LC50/吸入/4 時間/ラット	7,1 mg/l/4h

皮膚の腐食/刺激 :皮膚刺激を引き起こす。pH: データなし
重篤な眼の損傷/刺激 :重篤な眼刺激を引き起こす。 pH: データなし
呼吸器または皮膚感作 :アレルギー性皮膚反応を起こすことがある。
生殖細胞変異原性 : 未分類（入手可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていない）
発癌性 : 未分類（入手可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていない）
生殖毒性 : 胎児を傷つける恐れがある。
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類対象外（入手可能なデータでは、分類基準に合致しない）
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期又は反復ばく露により臓器に障害を起こすおそれ。
吸引性呼吸器有害性 :分類対象外（入手可能なデータでは、分類基準に合致しない。）

SE-10、SE-12、SE-16、SE-20、SE-22、SE-24	
動粘度	データなし

その他の副作用 : 長期または反復ばく露により臓器に障害を与える。胎児への影響が懸念される。
その他の情報 : 物理的、化学的、毒物学的特性に関連した症状。詳細については第 4 項を参照。

11.2. その他の危険に関する情報

11.2.1 内分泌かく乱作用

引き起こされる健康への悪影響 : この混合物は、内分泌かく乱作用を有するとして REACH 第 59 条(1)に従って設定された内分泌かく乱作用リスト に含まれる物質、または委員会委任規則(EU) 2017/2100 または委員会規則(EU) 2018/605 に規定された基準に従って内分泌かく乱作用を有すると定められた物質を 0.1 %以上の濃度で含まない。

11.2.2 その他の情報

その他の悪影響 : 長期または反復暴露により臓器に損傷を与え、胎児に損傷を与える疑いがある。

その他の情報 : 物理的、化学的および毒物学的に関連する症状 特性、詳細については第 4 項を参照のこと。

第12項:生態学的情報

12.1 毒性

環境特性 : 水生生物に毒性があり、その影響は長期にわたる。

水生環境に有害,短期(急性) : 分類対象外 (急性)

水生環境に有害,長期(慢性) : 水生生物に毒性があり、効果が長続きする(慢性)

スチレン (100-42-5)	
LC50 - 魚 [1]	3,24 - 4,99 mg / l (ばく露時間:96 時間 - 種: ファットヘッドミノー[フロースルー])
LC50 - 魚 [2]	19,03 - 33,53 mg / l (ばく露時間:96 時間 - 種: ブルーギル[静的])
LC50 - その他の水生生物 [2]	500 mg/l バクテリア
EC50 - 甲殻類 [1]	3,3 - 7,4 mg / l (ばく露時間: 48 時間 - 種: オオミジンコ)
EC50 - その他の水生生物 [1]	1,4 mg / l (ばく露時間: 72 時間 - 種: 緑藻ムレミカズキモ)
EC50 - その他の水生生物 [2]	0,72 mg / l (ばく露時間: 96 時間 - 種: 緑藻ムレミカズキモ)
EC50 72h - 藻類 [1]	1,4 mg/l (種: 緑藻ムレミカズキモ)
EC50 72h - 藻類 [2]	0,46 - 4,3 mg / l (種: 緑藻ムレミカズキモ [静的])
EC50 96h - 藻類 [1]	0,72 mg / l (種: 緑藻ムレミカズキモ)
EC50 96h - 藻類 [2]	0,15 - 3,2 mg / l (種: 緑藻ムレミカズキモ [静的])
NOEC (急性)	44 mg / kg (ばく露時間:14 日 - 種:シマミミズ[土壌乾燥重量])
NOEC (追加情報)	ミジンコ : 1,01 NOEC (21 日)

ジベンゾイルペルオキシド (94-36-0)	
LC50 - 魚 [1]	0,0602 mg/l (ばく露時間: 96 時間 - 種: ニジマス [半静的])

エチレンジベンゾエート(94-49-5)	
LC50 - 魚 [1]	> 0,434 mg/l ゼブラフィッシュ
EC50 - 甲殻類 [1]	1,4 mg/l
EC50 - その他の水生生物 [1]	> 1280mg/l 活性汚泥
ErC50 藻類	> 0,87 mg/l 緑藻 ムレミカズキモ
NOEC 慢性 魚	0,073 mg/l ゼブラフィッシュ
NOEC 慢性 藻類	0,045 mg/l 緑藻 ムレミカズキモ

1,1'-(p-トリルイミノ)ジプロパン-2-オール (38668-48-3)	
LC50 - 魚 [1]	17 mg/l (ばく露時間: 96 時間 - 種: ゼブラフィッシュ [静的])

メタクリル酸 (79-41-4)	
LC50 - 魚 [1]	85 mg/l (暴露時間: 96 時間 - 種: ニジマス [フロースルー])

12.2. 永続性と分解性

SE10、SE12、SE16、SE20、SE22、SE24	
持続性と分解性	追加情報なし。

スチレン (100-42-5)	
分解	良分解性。

ジベンゾイルペルオキシド (94-36-0)	
持続性と分解性	良分解性。

エチレンジベンゾエート(94-49-5)	
持続性と分解性	良分解性。

12.3 生物蓄積性

SE-10、SE-12、SE-16、SE-20、SE-22、SE-24	
分配係数 n-オクタノール/水	データなし。
生物蓄積性の可能性	追加情報なし。

スチレン (100-42-5)	
BCF - 魚 [1]	13,5
分配係数 n-オクタノール/水	2,95
生物蓄積性の可能性	生体内蓄積はしない。

ジベンゾイルペルオキシド (94-36-0)	
分配係数 n-オクタノール/水	3,2 (22 ℃、pH 7.02)
生物蓄積性の可能性	可能性が低い。

エチレンジベンゾエート(94-49-5)	
生物濃縮係数(BCF)	2,74
分配係数 n-オクタノール/水	3,75 (30 ℃、pH 7.7)
生物蓄積性の可能性	可能性が低い。

1,1'-(p-トリルイミノ)ジプロパン-2-オール (38668-48-3)	
分配係数 n-オクタノール/水	2,1 (24℃、pH 7.3-7.5)

メタクリル酸 (79-41-4)	
分配係数 n-オクタノール/水	0,93 (22 ℃、pH 2.2)

12.4. 土壌中の移動性

SE10、SE12、SE16、SE20、SE22、SE24	
土壌中の移動性	データなし。
生態学 - 土壌	データなし。

スチレン (100-42-5)	
有機炭素正規化吸着係数(log koc)	352 (20° C)

12.5. PBT および vPvB 評価の結果

SE10、SE12、SE16、SE20、SE22、SE24	
PBT 評価の結果	PBT/vPvB 物質は含まれておらず 、REACH 附属書 XIII に従って評価された 0.1%≥

コンポーネント	
スチレン (100-42-5)	この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の PBT 基準を満たしていません この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の vPvB 基準を満たしていません
エチレンジベンゾエート(94-49-5)	この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の PBT 基準を満たしていません この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の vPvB 基準を満たしていません
ジベンゾイルパーオキサイド (94-36-0)	この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の PBT 基準を満たしていません この物質/混合物は、REACH 規制、附属書 XIII の vPvB 基準を満たしていません

12.6 内分泌かく乱作用

環境への悪影響 : この混合物には、REACH の第 59 条 (1) に基づいて設定された内分泌かく乱作用に起因する物質リストに含まれる物質を含まない。または、または委員会委任規則(EU) 2017/2100 または委員会規則(EU)2018/605 に規定された基準に従って、内分泌かく乱作用を有すると同定された物質を 0.1 %以上の濃度で含まない。

12.7. その他の有害作用

その他の悪影響 :データなし。

第13項:廃棄に関する考慮事項

13.1. 廃棄物処理方法

製品/パッケージの廃棄に関する推奨事項	:環境への放出を避けてること。空の容器や廃棄物は安全に廃棄すること。安全な取り扱いについては、第7項を参照。回収/リサイクルについては、製造業者／供給業者に問い合わせること。廃棄や焼却よりもリサイクルが望ましい。リサイクルが不可能な場合は、自治体等の廃棄物処理規制に従って廃棄すること。汚染されたパッケージは、内容物と同じ方法で処理すること。汚染された物質は、現在の規制に従って廃棄すること。 製品によって汚染された包装：使用後も穴を開けたり、燃やしたりしない。容器を空にするために圧力をかけないこと。
欧州廃棄物カタログ	:この材料とその容器は有害廃棄物として処分する必要がある。(2001/573/EC,75/442/EEC, 91/689/EEC) 廃棄物コードは廃棄物処理当局と協議の上、使用者が割り当てるべきである。
廃棄物コードはあくまでも目安です	:150110* – 危険物質の残留物または汚染物を含む梱包材

第14項:輸送情報

ADR / RID / IMDG / IATA / ADN に準拠

道路輸送 (ADR)	国際海上危険物規定 (IMDG)	国際航空運送協会 (IATA)	内陸水路輸送(AND)	鉄道輸送 (RID)
14.1. 国連番号または ID 番号				
1866	1866	1866	1866	1866
14.2. 国連輸送品目名				
樹脂溶液 (スチレン)	樹脂溶液 (スチレン)	樹脂溶液 (スチレン)	樹脂溶液 (スチレン)	樹脂溶液 (スチレン)
輸送書類の説明				
国連 1866 樹脂 溶液 (スチレン)、 3, III, (D/E)	国連 1866 樹脂 溶液 (スチレン)、 3、III	UN 1866 樹脂溶液 (スチレン)、 3、III	国連 1866 樹脂 溶液 (スチレン)、 3、III	国連 1866 樹脂 溶液 (スチレン)、 3、III
14.3. 輸送危険等級				
3	3	3	3	3
14.4. 梱包グループ				
Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ

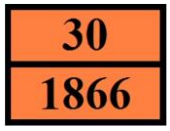
道路輸送 (ADR)	国際海上危険物規定 (IMDG)	国際航空運送協会 (IATA)	内陸水路輸送(AND)	鉄道輸送 (RID)
14.5.環境上の危険				
環境危険性 : あり	環境危険性 : あり 海洋汚染物質 : あり	環境危険性 : あり	環境危険性 : あり	環境危険性 : あり
環境負荷物質の適用除外が適用される(液体量≦5 リットルまたは固形物の正味質量≦5 kg)。したがって、ADR 規則 5.2.1.8.1 項に記載されているように、環境負荷物質マークは不要である。				
ADR/RID 第 2.2.3.15 章および IMDG2.3.2.5 に従い、鉄道、陸路、海路による輸送は制限されない。				

14.6. ユーザーのための特別な注意事項

使用者に対する特別な注意事項 : 特になし

– 陸上輸送

輸送規制 (ADR)	:	ADR/RID 第 2.2.3.1.5 章によるクラス 3 に該当しない。
分類コード (ADR)	:	F1
数量限定 (ADR)	:	5l
除外数量 (ADR)	:	E1
梱包指示書 (ADR)	:	P001, IBC03, LP01, R001
特別梱包規定(ADR)	:	PP1
混合梱包規定 (ADR)	:	MP19
ポータブルタンクおよびバルクコンテナの説明(ADR)	:	T2
ポータブルタンクおよびバルクコンテナの特別規定(ADR)	:	TP1
タンクコード (ADR)	:	LGBF
タンク車用車両	:	FL
トランスポート カテゴリー (ADR)	:	3
運送に関する特別規定 – パッケージ(ADR)	:	V12
運送に関する特別規定 – 運航(ADR)	:	S2
危険識別番号(ケムラー番号)	:	30
オレンジプレート	:	



トンネル制限コード	:	D/E
EAC コード	:	•3Y

– 海上輸送

運輸規制	: 30L 未満の量を船舶で輸送する場合、IMDG 2.3.2.5 の例外が適用される. : 危険物として規制されない。 出荷書類への記載 :「IMDG コード 2.3.2.5 に従って輸送すること。
特別規定(IMDG)	: 223, 955
数量限定 (IMDG)	: 5 L
除外数量 (IMDG)	: E1
梱包指示書 (IMDG)	: P001, LP01
特別梱包規定(IMDG)	: PP1
IBC 梱包説明書 (IMDG)	: IBC03
タンク命令(IMDG)	: T2
タンク特別規定(IMDG)	: TP1
EMS –いいえ。(火事)	: F–E
EMS –いいえ。(こぼれ)	: S–E
荷付カテゴリー (IMDG)	: A
プロパティと観察(IMDG)	: 水との混和性は組成に依存する。

–空輸

PCA 除外数量(IATA)	: E1
PCA 数量限定(IATA)	: Y344
PCA 数量制限最大正味数量(IATA)	: 10L
PCA 梱包説明書(IATA)	: 355
PCA 最大正味数量 (IATA)	: 60L
CAO 梱包手順書(IATA)	: 366
CAO 最大正味数量(IATA)	: 220L
特別規定(IATA)	: A3
ERG コード(IATA)	: 3L

– 内陸水路輸送

輸送規制 (ADN)	: 該当なし(2.2.3.1.5 参照)
分類コード (ADN)	: F1
数量限定 (ADN)	: 5 L
除外数量 (ADN)	: E1
必要な機器 (ADN)	: PP, EX, A
換気(ADN)	: VE01
青い円錐/ライトの数 (ADN)	: 0

–鉄道輸送

輸送規制 (RID)	: ADR/RID 第 2.2.3.1.5 章に基づくクラス 3 の良品なし
分類コード (RID)	: F1
数量限定 (RID)	: 5L
除外数量 (RID)	: E1
梱包手順 (RID)	: P001, IBC03, LP01, R001
特別梱包規定 (RID)	: PP1

混合梱包規定 (RID)	: MP19
ポータブルタンクおよびバルクコンテナの説明(RID)	: T2
ポータブルタンク・バルクコンテナ特殊	: TP1 規定(RID)
RID タンク用タンクコード(RID)	: LGBF
輸送カテゴリー (RID)	: 3
運送に関する特別規定-パッケージ (RID)	: W12
速達便（速達小包）(RID)	: CE4
危険物識別番号 (RID)	: 30

14.7. IMO の機器によるバルク海上輸送

コード: IBC : データなし

第15項:規制情報

15.1. 安全 物質または混合物に固有の健康および環境規制/法律

15.1.1. EU 規制

REACH 附属書 XVII(制限条件)に記載。次の制限が適用される。

3(a)規則(EC)No 1272/2008 の附属書 I に定められた次の危険有害性クラスまたはカテゴリーのいずれかの基準を満たす物質または混合物:危険クラス 2.1 から 2.4、2.6 および 2.7、2.8 タイプ A および B、2.9、2.10、2.12、2.13 カテゴリー1 および 2、2.14 カテゴリー1 および 2、2.15 タイプ A から F	スチレン

3(b)規則(EC)No 1272/2008 の附属書 I に定められた以下の危険クラスまたはカテゴリーのいずれかの基準を満たす物質または混合物:危険クラス 3.1 から 3.6、3.7 性機能および生殖能力または発達への悪影響、3.8 麻薬効果以外の影響、3.9 および 3.10	スチレン 1,1'-(p-トリリミノ)ジプロパン-2-オール;メタクリル酸
3(c)規則(EC)No 1272/2008 の附属書 I に記載されている次の危険有害性クラスまたはカテゴリーのいずれかの基準を満たす物質または混合物:危険クラス 4.1	スチレン 1,1'-(p-トリリミノ)ジプロパン-2-オール
40.可燃性ガスカテゴリー1 または 2、可燃性液体カテゴリー1、2 または 3、可燃性固体カテゴリー1 または 2、水と接触して可燃性ガスを放出する物質および混合物、カテゴリー1、2 または 3、自然発火性液体カテゴリー1 または自然発火性固体カテゴリー1、規則(EC)No 1272/2008 の附属書 VI のパート 3 に記載されているかどうかにかかわらず。	スチレン

REACH 候補リストに掲載されている物質を含まない
REACH 附属書 XIV(認可リスト)に記載されている物質を含まない

15.1.2 各国の規制

フランス

ICPE 番号	分類された設備 見出しの説明	プランコード	区分
4331.テキスト	セクション 4330 を除くカテゴリー2 またはカテゴリー3 の可燃性液体。 地下空洞を含む設備に存在すると考えられる総量は次のとおり。		

4331.1	1. 1000 トン以上 第 R.511-10 条における低閾値量:5,000 トン。 第 R.511-10 条における高閾値量:50,000 トン。	A	2
4331.2	2. 100 トン以上 1000 トン未満 第 R.511-10 条における低閾値量:5,000 トン。 第 R.511-10 条における高閾値量:50,000 トン。	E	
4331.3	3. 50 トン以上 100 トン未満 第 R.511-10 条における低閾値量:5,000 トン。 第 R.511-10 条における高閾値量:50,000 トン。	DC	
4511.テキスト	慢性カテゴリー2 水生環境に有害。		
4511.1	設備内の合計数量は次のとおり。 1. 200t 以上 第 R.511-10 条における低閾値量:200 トン。 第 R.511-10 条における高閾値量:500 トン。	A	1
4511.2	設備内の合計送料は次のとおり。 2. 100 t 以上 200 t 未満 第 R.511-10 条における低閾値量: 200 トン。 第 R.511-10 条における高閾値量: 500 トン。	DC	

ドイツ

規制参照 : WGK 2、水に著しく有害(AwSV、附属書 1)

VbF によるリスク分類 : A II – 引火点が 21° C から 55° C の液体

ドイツのストレージ クラス (LGK) : LGK 3 – 可燃性液体

危険事故条例(12.BImSchV) :12.BImSchV (附属書 I) の次の項に記載: 1.2.5.2

第 1 項に基づく運用エリアの数量閾値 1

- 条文 1:50000 kg
- 条文 2:200000 kg

12.BImSchV(附属書 I)の次の項に記載:1.3.2

第 1 項に基づく運用エリアの数量しきい値 1

- 条文 1:200000 kg
- 条文 2:500000 kg

オランダ

水害 :カテゴリーZ(1) – 人や環境に有害な性質(発がん性/変異原性/再現性/生体蓄積性/毒性または持続性)を有する非分解性物質

SZW 発がん性物質リスト : どのコンポーネントも含まれない

SZW 変異原性物質リスト : どのコンポーネントも含まれない

SZW 生殖毒性物質リスト-母乳育児 : どのコンポーネントも含まれない

SZW 生殖毒性物質リスト-生殖能力 : どのコンポーネントも含まれない

SWZ 生殖毒性物質リスト-開発 : スチレン

デンマーク

火災危険度クラス : クラス II-1

店舗単位 :5 リットル

分類の備考 : R10 <H226;H302;H315;H317;H319;H361d;H372;H411>;可燃性液体の保管に関する緊急事態管理ガイドラインに従う必要あり。

推奨事項デンマークの規制 : 妊娠中/授乳中の女性は、製品を扱う際に直接触れないこと。

ノルウェー

この安全データシートは、ノルウェーの法律に従い作成されてる。 : FOR 2002-07-16 No. 1139: 有害化学物質の分類、表示等に関する規制。物質および混合物(CLP)の分類、表示および包装に関する規制。FOR 2008-05-30 no. 516: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則(REACH 規則)

ポーランド

この安全データシートは ポーランドの法律に従い作成されている。 : 該当なし

15.2. 化学物質の安全性評価

該当なし

以下の混合物質については、化学物質の安全性評価が実施されている
スチレン ジベンゾイルペルオキシド エチレンジベンゾエート メタクリル酸

第16項:その他の情報

変更の表示:

1.2	主な使用カテゴリー	追加
2.2	注意事項(CLP)	変更
2.3	ED テキスト	追加
3	組成/成分情報	変更
7.1	安全な取り扱いのための注意事項	変更
7.1	衛生対策	変更
7.2	包装に関する特別規則	追加
7.3	特定の最終用途	追加
9.2	物理的危険クラスに関する情報	追加
9.2	その他の安全特性	追加
10.4	避けるべき条件	追加
11.2	内分泌かく乱特性によって引き起こされる健康への悪影響	追加

12.1	環境特性	変更
12.6	内分泌かく乱特性によって引き起こされる環境への悪影響	追加
14.1	国連番号または ID 番号	追加
14.7	IMO の機器によるバルク海上輸送	追加
15.1	設備分類	変更
15.1	連邦入国管理法 第 12 条令 – 12.BImSchV	追加
15.1	水害	追加

略語と頭字語:

	ADN = 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定 ADR = 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定 CLP = 1272/2008/EC に準拠した分類、ラベル付けおよび包装規制 IATA = 国際航空運送協会 IMDG = 国際海上危険物規定 LEL = 爆発下限値 UEL = 爆発上限値 REACH = 化学物質の登録、評価、認可および制限
	EC50 = 半数影響濃度
	LC50 = 半数致死濃度
	LD50 = 半数致死量
	該当なし
	TLV = 作業環境許容濃度
	TWA = 時間加重平均
	STEL = 短時間ばく露限界
	難分解性、生物蓄積性、毒性（PBT）
	vPvB =非常に難分解性で高い生物濃縮性
	WGK = 水質汚染度(ドイツ水危険有害性分類)
	ABM = 一般的な評価方法
	BTT = ブレークスルー時間(最大摩耗時間)
	DMEL = 導出最小毒性量
	DNEL = 導出無毒性量
	EL50 = 半数影響負荷率
	ErC50 = 成長阻害の観点から見た EC50
	ErL50 = 成長阻害の観点から見た EL50
	EWC = 欧州廃棄物カタログ
	LL50 = 半数致死負荷率
	NOEC = 無影響濃度
	NOEL = 無影響量
	NOELR = 無影響負荷率
	NOAEC = 無観察有害影響濃度
	NOAEL = 無毒性量
	N.O.S. = 他に規定なし
	OEL = 職業ばく露限界値 – 短期ばく露限界値（STELs）
	PNEC = 予測無影響濃度

	定量的構造活性相関(QSAR)
	STOT = 特定の標的臓器毒性
	VOC = 揮発性有機化合物

本報告書の作成に使用した主要データの出典 : ECHA（欧州化学物質庁）。
追加情報 : データシート メーカー/サプライヤー。

トレーニングアドバイス : 手術は、資格を有し認可された者のみが行うこと。
適切な方法についてスタッフを教育すること。

その他の情報 : 分類 – 評価方法: CLP 計算方法 (第 9 条)。

H および EUH ステートメントの全文:

急性毒性 2 (経口)	急性毒性(経口)、区分 2
急性毒性 3 (経皮)	急性毒性(経皮)、区分 3
急性毒性 4 (吸入)	急性毒性(吸入)、区分 4
急性毒性 4 (吸入:粉塵、ミスト)	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) 区分 4
急性毒性 4 (経口)	急性毒性(経口)、区分 4
水生環境有害性 急性 1	水生環境に有害–急性的な危険、区分 1
水生環境有害性 慢性 1	水生環境に有害–慢性的な危険、区分 1
水生環境有害性 慢性 2	水生環境に有害–慢性的な危険、区分 2
水生環境有害性 慢性 3	水生環境に有害–慢性的な期間、区分 3
誤えん性有害 1	誤嚥の危険性、カテゴリー1
眼刺激性 2	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性, 区分 2
引火性液体 3	引火性液体, 区分 3
H226	可燃性の液体および蒸気
H241	熱すると、火災または爆発のおそれ
H300	飲み込むと生命に危険
H302	飲み込むと有害
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H311	皮膚に接触すると有毒
H314	重度の皮膚の薬傷および眼の損傷
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
H319	強い眼刺激
H332	吸入すると有害

H335	呼吸器への刺激のおそれ
H361d	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H372	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害
H400	水生生物に非常に強い毒性
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害
有機過酸化物 B	有機過酸化物、タイプ B
生殖毒性 2	生殖毒性, 区分 2
皮膚腐食性 1A	皮膚腐食性/刺激性、区分 1、サブ区分 1A
皮膚刺激性 2	皮膚腐食性/刺激性, 区分 2
皮膚感作性 1	皮膚感作性, 区分 1
特定標的臓器毒性(反復暴露) 1	特定標的臓器毒性(反復ばく露), 区分 1
特定標的臓器毒性(単回暴露) 3	特定標的臓器毒性(単回ばく露), 区分 3, 気道刺激

規則 (EC) No. 1907/2006 (REACH) とその修正規則 (EU) 2020/878 に準拠
規則 (EC) No. 1272/2008 [CLP] に基づく分類 規則 (EC) No. 1272/2008 [CLP] に基づく表示

【免責事項】本 SDS に記載されている情報は、信頼できると思われる情報源から入手したものです。しかし、この情報は、その正しさに関して、明示または黙示を問わず、いかなる保証もするものではありません。製品の取り扱い、保管、使用または廃棄の条件または方法は、当社の管理範囲を超えており、当社の知識を超える可能性があります。このような理由およびその他の理由により、当社は、製品の取り扱い、保管、使用または廃棄に起因または関連する損失、損害または費用について責任を負わず、明示的に免責されるものとします。本 SDS は、本製品にのみ使用されることを前提に作成されています。本製品が他の製品の構成要素として使用される場合、この SDS 情報は適用されないことがあります。